

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 26 年 6 月 19 日 (2014.6.19)

【公表番号】特表 2012-522678 (P2012-522678A)

【公表日】平成 24 年 9 月 27 日 (2012.9.27)

【年通号数】公開・登録公報 2012-039

【出願番号】特願 2012-502688 (P2012-502688)

【国際特許分類】

B 6 0 S 1/38 (2006.01)

B 6 0 S 1/40 (2006.01)

【F I】

B 6 0 S 1/38 A

B 6 0 S 1/40 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 25 日 (2014.4.25)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

伸縮自在で、細長のキャリア要素及び拭取対象のフロントガラスに当接して設置される可撓性材料から成る細長のワイパーブレード (2) を具備している前記ワイパーブレード (2) が少なくとも 1 つの縦溝 (3) を含み、前記縦溝 (3) には、前記キャリア要素の長片部材 (4) が配置され、振動アーム (7) のための接続具 (6) を具備するフロントガラス用ワイパー装置 (1) であって、

前記振動アーム (7) が、接続部の介在と同時に、その 1 つの端部に近接した旋回軸を支持して、前記接続具 (6) に枢動可能に接続され、前記ワイパーブレードが拭取対象のフロントガラスから見て外側を向いているその側面にスポイラ (9) を具備し、

前記接続具 (6) が実質上 U 字型断面を有し、前記 U 字型断面を成す脚部 (10, 19) が、その反対側に向かって前記ワイパーブレード (2) を成す可撓性材料に接続され、内部空間 (18) は、前記接続具 (6) 及び前記ワイパーブレード (2) との間において、それらの相互接続位置にて、隙間を成し、前記内部空間 (18) は、前記振動アーム (7) の自由端部から離れた前記接続具 (6) の第 1 側面から、前記振動アーム (7) の自由端部に面している前記接続具 (6) の第 2 側面へと向こう側へ雨水を運ぶための水路を形成し、

並びに使用中において、前記水路が、環境に関連した外部圧力を有する前記接続具 (6) の前記第 1 側面から、前記振動アーム (7) の振動運動を起因とした環境に関連した内部圧力を有する前記第 2 側面へと雨水を自動的に運び、前記脚部 (10, 19) が開口位置から移動可能であり、前記長片部材 (4) を含んでいる前記ワイパーブレード (2) が、閉鎖位置に、それらの相互接続位置にて前記接続具 (6) の内側に設置され、及び前記脚部 (10, 19) が、前記ワイパーブレード (2) を成す可撓性材料の周囲を挟み込み、前記長片部材 (4) は、前記接続具 (6) に接して、対応する突起 (33) と一体となって協働している少なくとも 1 つの窪み (30) と一体となった、その内部及び / 又は外部エッジ (31, 32) に沿って設けられ、並びに / 又は前記長片部材 (4) は、前記接続具 (6) に接して、対応する窪み (34) と一体となって協働している少なくとも 1 つの下方伸長突起 (35) が設けられていることを特徴とするフロントガラス用ワイパー

装置。

【請求項 2】

前記閉鎖位置において、前記脚部（10，19）が、前記接続具（6）及び前記ワイパーブレード（2）の相互接続位置で、前記ワイパーブレード（2）を成す可撓性材料を若干変形させている請求項 1 に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【請求項 3】

前記接続具（6）及び接続部（8）から成る U 字型断面の基部（11，20）は、前記スポイラ（9）が正確に方向付けられる方法で、前記接続部（8）が前記振動アーム（7）に最適に接続されることを許容するために、相互に協働している突起及び穴手段を具備する請求項 1 又は 2 に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【請求項 4】

前記水路は、前記接続具（6）の縦方向に伸びる請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【請求項 5】

前記スポイラ（9）が前記ワイパーブレード（2）の長さに沿って連続的に伸び、前記空間（18）が、前記接続具（6）及び前記スポイラ（9）の間で規定される請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【請求項 6】

前記スポイラ（9）が前記ワイパーブレード（2）と一体を成す請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【請求項 7】

前記脚部（10，19）が、閉鎖位置から開口位置の中へとバネ力に逆らって押しやられ、前記脚部（10，19）が、前記開口位置から前記閉鎖位置の中へ跳ね返される請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【請求項 8】

前記閉鎖位置において、前記ワイパーブレード（2）及び前記長片部材（4）は、前記接続具（6）及び前記ワイパーブレード（2）の相互接続位置において、前記脚部（10，19）により相互に固定され、並びに前記閉鎖位置において、前記ワイパーブレード（2）は、前記接続具（6）及び前記ワイパーブレード（2）の相互接続位置の外側で前記長片部材（4）に関連して、縦方向に動かされる請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【請求項 9】

前記接続具（6）が金属から成る請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【請求項 10】

前記接続部（8）は、前記接続部（8）に設けられる窪み（16）の中で、前記旋回軸の位置にて、前記接続具（6）の突起（15，27）に係合することにより、前記接続具（6）に着脱可能に接続される請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【請求項 11】

前記接続部（8）は、前記接続具（6）との接続位置にて、少なくとも十分に U 字型断面を有し、前記接続部（8）は、前記旋回軸と同軸上に設けられた窪み（16）が設けられている請求項 10 に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【請求項 12】

前記突起（15，27）が前記接続具（6）の両側に向かって外側へ伸びる請求項 10 又は 11 に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【請求項 13】

前記突起（15，27）は、同軸貫通孔が設けられている請求項 10 乃至 12 のいずれか 1 項に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【請求項 14】

前記接続部（８）は、前記振動アーム（７）のＵ字型断面に基づいて設けられる、対応した形状の穴（１７'）に係合している少なくとも１つの弾性舌片（１７'）を具備し、前記弾性舌片（１７'）は、前記振動アーム（７）の上に前記ワイパーブレード（２）を保持している外側の位置と前記振動アーム（７）から前記ワイパーブレード（２）を開放している内側の位置との間で、蝶番に沿って回転可能である請求項１０乃至１２のいずれか１項に記載のフロントガラス用ワイパー装置。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】０００７

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【０００７】

本発明に係るフロントガラス用ワイパー装置の別態様は、前記接続具及び前記接続部から成るＵ字型断面の基部は、前記スポイラが正確に方向付けられるような方法で、前記接続部が前記振動アームにのみ接続されるということを許容するために、相互に協働している突起及び穴手段を具備する。従って、この条件の通りに蝶型配置において、前記スポイラの方が常に良くなるために、不都合な位置でも車にワイパーブレードを取り付けることが可能になる。周知の車はよく、そのフロントサイドに“バタフライ”ワイパー配置なるものを備えている。このような配置において、２つの振動アームは、小さなモータによって駆動されるシャフトの回転のために固定された取り付け頭部に、それぞれ枢動可能に接続され、使用時には、１つのシャフトが、反時計回り及び時計回り感覚（このシャフトは、車の運転者サイドにおける振動アームに対応する）で交互に回転する一方、他のシャフトが同時に反時計回り及び時計回り感覚（このシャフトは、車の助手席サイドにおける振動アームに対応する）で交互に回転する。使用時には、両方のシャフトはまた、回転の中に取り付け頭部を運び、順に回転の中に振動アームを引きこみ、そして接続具の手段によりそれに応じてワイパーブレードを動かす。実際には、国際特許公開第００／０７３１１３号パンフレット（ロバート ボッシュ ゲーエムベーハー）に開示され及び上述の“バタフライ”ワイパー配置を有した車に使用されるようなフロントガラス用ワイパー装置の代わりに、１つは、フロントガラス用ワイパー装置が車の運転席サイドに振動アームが設置されることが意味されることが及びフロントガラス用ワイパー装置が車の助手席サイドに振動アームが設置されることが意味されることが注意深く見なくてはならないことが明らかとなった。これは今、本発明によって未然に防がれる。